

### 「より良い相続対策を見つけるには…?」

相続手続支援センター東信の岩下です。本年もよろしくお願い致します。



さて、ご相談をお受けする時に「私はどのような相続対策をしたらいいか今すぐ教えてくださいませんか?」と聞かれることがあります。「自分に合った相続対策をすること」は「良く効く薬をもらうこと」と同じだと私は思っています。

例えば、ある薬がとても効果がある、ということの本で見たり話を聞いたとします。初めて行ったお医者さんに「本で見た〇〇という薬をすぐ下さい」と言っても、お医者さんは何もせずすぐに言われた薬を出してくれることはまずないですよね?

医師の問診や血液検査等を行い、その結果医師が症状を説明して処方箋を頂きます。その後、薬局でも医師の処方箋の内容をよく確認し、今飲んでいる薬の内容が分かる「おくすり手帳」を見て他で持っているお薬の情報を見ながら、やっと初めて薬を頂けます。一つ一つの薬はもちろん効き目のあるものです。

ただし、そもそもその薬を飲む必要があるのか、自分の体質に合った薬なのか、適切に自分の改善したい症状に効く薬なのか（現在の病状をすぐ回復したいのか、それとも先々まで体に負担の少ない回復をしたいのか）、他の薬との飲み合わせによって効果が薄くなったり副作用が出たりしないか等々細心の注意を払った上でないと効き目が不十分だけでなく、体調が悪化することにもなりかねないのです。

効果的な相続対策も同じです。前の文章の言葉をそのまま置き換えてみましょう。「一つ一つの相続対策は効き目のあるものです。ただし、そもそもその相続対策はする必要があるのか、自分の現状に合った相続対策なのか、適切に自分の望む目的に合う相続対策なのか（直前の相続税の節税が目的か、税金よりも先々の代までスムーズに相続することが目的か）、他の相続対策との組み合わせによって効果が薄くなったり問題点が出たりしないか等々細心の注意を払った上でないと相続対策の効果が不十分だけでなく、現状が悪化することにもなりかねないのです。」



いかがですか? どちらも同じ内容で当てはまりますね。

セミナーで学んできた内容や、本・テレビで見た相続対策は一つ一つは効果のあるものかと思われまます。ただし、その相続対策は果たして自分に合っているのか?薬の例からも分かるように、まずは自身の現在の財産状況やすでに行っている相続対策を専門家と整理し、一つ一つでなく全体を把握した上で自分に合った相続対策は何なのかを考えてみると良いでしょう。

その上で薬の例と違うことも二つあります。

一つは、不調や苦しみの症状は自分自身の問題だけでなく相続人である残された家族・親族にも影響することです。自分だけの体調不良は自分自身で我慢できますが、家族にまでその苦しさが引き継がれるのは自分自身も家族も切ないものです。